

## 分科会開催報告書

報告日 令和5年 2月 28日 (火)	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第168回浮雲俳句会
開催日時 令和5年2月26日(日) 午前10時~12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 男9名 女4名 合計13名 欠席者1名	

### 実施内容

第168回例会は兼題「和」を入れた1句、当季雑詠3句、合計4句。

太田重九代表より、①令和5年4月以降の役割分担、②浮雲俳句会のあり方と進め方 について説明。了承される。

係より、秋の吟行会について話あり。

句会は大谷二祥会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。

月当番による合評後、意見、質問、添削等、活発な意見交換がなされた。

全会員により、特選句6句を選ぶ。

### 特選句

延々と後ろ手の婆麦を踏む	二 点
残照の川面に醸す余寒かな	十 九
下萌や燥ぐカラーのスニーカー	とも女
春告げる色とりどりの和菓子かな	重 九
芽吹かんと雨に和らぐ枝の先	とも女
春陽や寄せる波間の白砂踏む	一 税

### 次回の予定

令和5年3月26日(日) 午前10時~12時

「第169回例会」は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

兼題「卒業」を入れた1句、他に当季雑詠3句、合計4句。

披講 小幡とも女会員